

## 国際赤十字・赤新月社連盟の概要

(International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies)

---

1. 【設立】 第一次大戦後、米、英、仏、伊、日の五社の提唱により、平時の赤十字活動を推進する国際的な連合体として1919年パリに設立され、1939年に中立国のスイス・ジュネーブに移転。1963年、ICRCと共にノーベル平和賞を授賞。
2. 【名称】 1991年に「赤十字社連盟」から現在の名称に改称
3. 【組織】 各国赤十字社・赤新月社(世界186カ国)の連合体で、独自の憲章を持つ国際機関。1994年国連総会のオブザーバーの地位を取得。ジュネーブの事務局のほか、世界65カ国に代表部を設置。ジュネーブ事務局250人、地域代表部に352人。(内、日赤出向者2人)
4. 【任務】 ①各社の人道的活動の支援・推進、②各社の連絡調整・研究、③各社の設立・発展の促進、④災害時の国際救援活動の調整
5. 【機構】 最高議決機関は総会(186社参加、通常2年毎に開催され、2009年11月18日～21日にケニアで開催)。各地域選出の20社からなる連盟理事会は年2回開催される。任期4年。日赤は2001年から2005年まで理事社。そのほか、財政委員会、4つの諮問委員会(災害救援、開発、保健地域サービス、青少年)。
6. 【会長・副会長】ファン・マニエル・スアレス・デルトロ(スペイン赤社長、2005年11月再選、現在2期目)5人の副会長の内、2005年の選挙にて日赤近衛社長が最高得票で選出。
7. 【事務総長】 ベケレ・ゲレタ(2008年7月就任。元エチオピア赤事務総長、元運輸情報副大臣、駐日大使他)
8. 【財政規模】
  - ① 事業費: 3億8,400万スイス・フラン(約329億5300万円 2008年)
  - ② 本部費: 5,980万スイス・フラン(約51億2000万円2008年)
9. 【国連との関係】国連クラスターの中で「災害時のシェルター」を担当、WHO と連携しているほか、加盟各社が国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)や世界食糧計画(WFP)の事業実施パートナーとして活動
10. 【活動の特徴】
  - ① 創設以来の災害救護—2000件以上のアピールを発し、1923年の関東大震災への救援金(現在の邦貨で1400億円相当)はインド洋津波災害までは史上最大規模。
  - ② 世界に9000万人以上の赤十字ボランティアによる保健・福祉事業の実施。
11. 【日本赤十字社の拠出額】米の19%に次ぐ7%の分担金約2億1400万円及び事業費31億8100万円(2008年)